

# 日本語で行う異文化交流

—外国人と日本語でコミュニケーションする際の問題について—

牧原 功 先生

8月5日 13:00~15:00

人数制限：20名

超過の場合は、ワークショップ席20席の周りに参観席（制限なし）をもうけます。



現在、少子化等による社会構造の変化にともなって、多くの外国人の方が日本で働くようになっていっています。このような傾向は今後も進んでいくことと思いますが、それに伴い、私達が異なる文化を背景に持つ人々と接触する機会も増えていくことでしょう。

今後、外国人と日本語でコミュニケーションをとるという体験をする方が多くなっていくと思われますが、本講座では、そのような場で、どのようなコミュニケーションギャップが生じるのかについて、考えていきたいと思います。

## 講師紹介

牧原 功（まきはら つとむ）

群馬大学助教授。大学・大学院では言語学を専門に学ぶ。国立台湾大学（旧台北帝国大学）に日本語学科が開設されるに伴い招聘を受け、以後、日本語教育に携わる。現在は、留学生センターにおける外国人留学生のための日本語科目と、教育学部における日本語教育関連の講義を担当。興味の内容はコミュニケーションにおける言語の機能。主な著書には『日本語教育講座 日本語文法・談話』（千駄ヶ谷日本語教育研究所、1999年）、『標準日本語』（人民教育出版社・光村書店 2005年共著）があり、その他国語辞典、外国人日本語学習者のための日本語辞典の執筆等多数。